



醍醐 聡さん
に聞く

メディアの今とこれからの 熱く発信!!

視聴者・国民の具体的な声が大切

市民の目線で東京を中心に全国的な幅広い活躍をされ「NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ」共同代表もなさっている醍醐聡さんに当会世話人が2月末、東京都内でインタビューを行いました。その内容は紙面の都合上、別刷A4版13ページだてで編集していますので是非お読み下さい。

(聞き手・河野安士、記録・佐々木有馬)

だ い ご さ と し
醍 醐 聡 さん

プロフィール

「NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ」共同代表
東京大学名誉教授

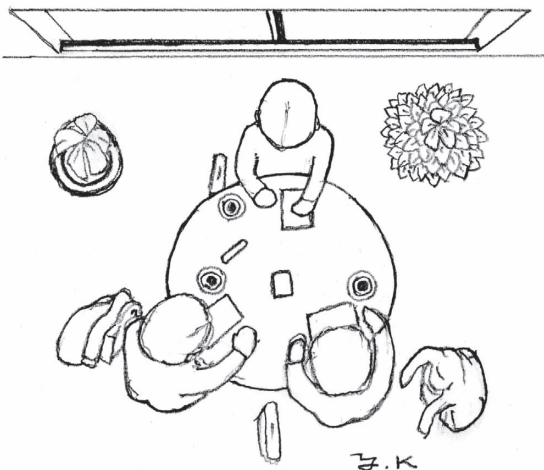


インタビュー概要

インタビューはあらかじめ当会が準備したものを質問形式で進行了ました。その主な内容を簡略にご紹介します。

まず、NHKを中心とした日本のメディア全般の現状と将来=TVで言えば番組内容が良質でなくなっている。特にNHKは5ヵ年計画で「視聴者接触率」向上を追求余り民放化が進んでいる現状を番組の具体例で指摘された。中でもNHKの受信料の一部を将来民放の番組づくりに活用してはとの斬新な意見が語られました。昨年秋、民主党政権が全く不十分な審議で放送法を「改定」したことに対して=最悪な部分は決まらなかったが「悪法」であることは確かと断じられた。法的になされるべ

きこととして、番組審議委員会の人選やNHK会長選出などは現在「闇の中」にあり、今後改めるべきであるとも述べられた。今春のNHK会長選びと経営委員長辞任問題では、その経過と本質を丁寧に解説され、ご自身でもNHKに対してタイミングを逃がさず質問状を提出されたことを紹介されました。更に現在のNHK経営委員に対してそのあり方を厳しく評された。今後日本国民に関わる重要課題での日本メディアの「政治報道」がおかしい=それは「結論誘導型」「国民世論を一つの方向に束ねようとしている怖い流れだ」と指摘され、メディア本来の役割を果たすには、「争点提示型」の報道をすべきだと警告されました。又、現在の報道がつづく中で国民(視聴者)は失望感から「シニシズム(冷笑主義)」に向って行くと断言。加えて「記者クラブ」の存在にも話しが及び、取材のあり方に問題があるとも。また、地デジ問題、民放も含めたメディアの現状や私達が取り組んでいる「視聴者」市民運動について、「ただ批判するだけでなく、提案・要望を具体的にあげて民放も含めて視聴者からボールを投げる」という運動を今後進めて行くようにすべきとの建設的な考えを語られたことが熱く強く感じられるインタビューでした。



(文責・河野)

東日本大震災

— 原発報道に一言

日本科学者会議

岩本 智之 さん

東北太平洋沖地震と大津波は、福島県に集中立地する原子力発電所を破壊し、炉心溶融、水素爆発など重大な事故が発生しています。テレビや新聞はこの事故を連日、大きく報道しています。

しかし

- ▲電力会社は絶対安全と言っていたのに、
どうして大事故が発生したの？
- ▲原発ってどんな原理？
- ▲炉心溶融って何が起こった？
- ▲放射能、放射線の危険は？
住民の被ばく線量は？
- ▲チェルノブイリ事故みたいにならないの？
- ▲汚染食品は食べてはいけないの？
- ▲そもそも日本に原発は必要なの？
- ▲若狭湾にも原発がたくさんあるけど大丈夫？

のような国民の不安、疑問にどれだけ答えているか、しっかりと検証しておく必要があるでしょう。

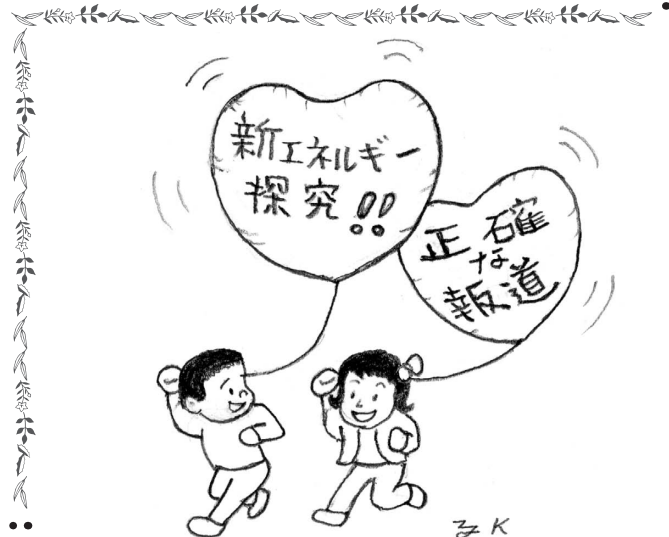
テレビには次々と主として東京の大学教授が登場して、アナウンサーの質問に対していろいろなことをしゃべり続けています。その多くは、いいことも言っていますが、たまには放射性物質の飛来について、マスクをすること、帰宅したら帽子や衣服をよくはたいて、家の中に持ち込まないこと、などとまるで「花粉症」対策みたいな事を述べるセンスもあります。

もちろん共通する面もなきにしもあらずですが、

普通のガーゼでは微粒子が止められるか疑問ですし、ガス状のものは素通りです。パタパタとはたいて飛散した粒子を吸い込んでしまったら、内部被ばくの問題が出てきます。

“また××による被ばくは胃の検査の何分の一”みたいなことも言われます。もちろん“人間の健康に「直ちに」影響するものではないでしょうが、そもそも医療用にやむを得ず被ばくするのは、そのデメリットを上回るメリットがあるのであって、たまたま原発の近くに住んでいる人にとっては、何の代償もないのですから、これも変な比較です。

こんな時こそ、政府もメディアも丁寧に国民に説明してほしいです。それなしに、国民に「冷静な対応」を求めても空念仏になりかねません。



大阪放送局との懇談会 (08年9月以降5回目)

昨年10月26日(火)午後2時から約2時間余り放送局内で実施されました。

冒頭、井上副局長の新任あいさつ後、市民団体から「大阪放送局の番組製作は」との質問に対して局側「先ずそちらの意見を聞きたい」ではじまった懇談会。その中身は大阪制作の『てっばん』の局側PR、新副局長が「過去の番組担当紹介」市民団体「我々の集いに局として誰か来れないか？」などが約1時間やりとりされ、その後、当会から恒例「NHK ニュース報道について申し入れ」「10/26NHK 大阪放送局への質問と要望」

5項目を京都連絡会から各々文書をよみあげ提出。兵庫の会は10月24日(昨年)「安保50年日米密約～」集いの資料を説明され局側に席上手渡されるなど話は「BPO」からの指摘(過去の改ざん)問題にまで及び、局側(赤木氏)「政権からの圧力を疑われることではあってはならない」との発言が印象的であった。参加者＝局側井上副局長、赤木、桶上。市民団体＝京都・3名、兵庫・3名、大阪・1名(次回は未定)。(報告・河野)

東日本大震災被災地の一日も早い復興を祈念申し上げます

受信料について Q&A

Q 受信料訪問集金でこんなことが

「うちは見えていないから払いません。と断ったら、訪問者が「次の手があるからな！」と脅迫まがいの捨てゼリフを吐いて帰りました。次の手とはどんなことを考えられているのでしょうか。

(奈良在住・Hさん)

A 脅して支払いを迫る言葉には当事者がどう思うか、思いで言ったかはわかりませんが受け取る側は、脅迫に感じたのであればその事が問題ですの

で、協会に報告すべきです。見ていないの中にはTVがない、NHKを見ない民放は見ると家族内でもさまざまです。次の手があるからな！と言ったゼリフには脅迫感が見てとれますので、それが地域スタッフでなくても大変なことです。最近、協会はエリア型法人の者も私たちと同じような仕事をしているのでなんとも言えません。また契約当初よりTVない、不払いの理由が別にあるなど何らかの方法で確認と放送法の説明と主旨を伝える必要があります。過去に一度も支払った事のない場合①地域スタッフの訪問が増える②地域スタッフ以外の訪問がある③職員が訪問する場合があります。…が考えられます。

(視聴者目線の地域スタッフより)
協会とは、日本放送協会(NHK)のこと。

つどいPRコーナー

「あれでいいのか？NHK会長選びと原発震災報道」というテーマで5月22日(日)関西の中心地・「エルおおさか」で午後1時半から午後4時半の予定で集いを開催致します。是非ご参加下さい。(添付資料参照)

募金のお願い

当会の活動は、京都・兵庫の友好団体と共同してNHK大阪放送局との懇談会を取り組むなど当会独自に集いを企画、会のニュース「サテライト」を発行し、一人でも多くの人に我々の運動を広めることにあります。当会の活動趣旨をご理解頂き、運動を継続させていくために募金(カンパ)のご支援を心からお願い申し上げます。

NHKが「真の公共放送」の役割を果たすよう
私たちの活動にご支援ください。

当会・活動日誌(10年1月～12月迄)

- 1月29日……NHK大阪放送局との懇談会参加
- 3月23日……「放送行政はどうあるべきか」学習会参加
- 3月30日……高槻市議会傍聴(地デジ問題)
- 4月17日……「地デジ」てなんやねん!?当会集い開催する
- 6月15日……サテライト3号発行
- 6月27日……「これでいいのか!放送法改正」(講演会)参加
- 10月16日……「NHK経営委員とともにin静岡」へ参加
- 10月26日……NHK大阪放送局との懇談会参加
(当会の世話人会議は毎月最低1回開催しました)

サテライト4号・添付資料リストご案内

- 醍醐さんとのインタビュー 13ページ(A4)
- 「アナログテレビ放送の一斉…」署名用紙
- NHK会長・経営委員会・質問状 1枚
- 5月22日「集い」PR(ビラ) 1枚
- 当会への募金(カンパ) 干払込用紙 1枚

編集後記

約10ヵ月振りの発行となったサテライト、未曾有の大災害で当初予定していた記事を変更して編集。それでも醍醐さんへのインタビューは基本的には災害報道の根本にも十分に生かされるものであると・・・是非別刷り読まれたし。

メディアは原発震災報道を丁寧・正確な姿勢で報道せよ!!



NHKウォッチング

2011年1月1日～31日

朝7時のニュース(ラジオ)

好適時間の朝の7時は さながら政権党の指定席だ!!

(ウォッチャー・佐々木有馬)

NHK視聴者ふれあいセンターによると、ニュースは朝7時台と夜7時台がメインとなっているとの説明でした。多くの人たちがこの時間帯にテレビ、ラジオを視聴していると思われます。筆者が上記の期間にウォッチングした政治の動きに関するニュースはおおむね下表の通りです。連日、政府と政権政党の動きを中心に報じられ政府・与党がすすめる政治の方向への世論作りを担っているのかと疑いたくなります。野党の動きを報じるのは殆んど前政権党の範囲に留まり、社会の閉塞感をどのように切り開いて行くのかを明確に示して活動する野党の動きを報じることは極めてまれな事です。公平・公正、不偏不党の報道を通じて民主主義の発展に寄与すると規定した放送法に照らして、これに逸脱した報道姿勢を指摘せざるをえません。(敬省略)

日付 曜日	項目	日付 曜日	項目
1 土	統一選民主党が固められるか、ことしは政権交代後初の統一地方選挙		主、自民、公明が会談
2 日	菅 民主党綱領作成を指示 *自民党 国会冒頭から攻勢強める	19 水	政府 社会保障と税について関係閣僚会議を行う枝野、藤井、与謝野、野田ら 海江田、前原ら政府内で意見の隔たり大きい *自民石原、マニフェストとの関係を国会で追及する
3 月	Uターンラッシュほか (政治ニュースなし)		
4 火	菅 今日年頭の記者会見を行う、消費税を含めた財政改革、TPP、子ども手当と財源措置	20 木	政府 税と社会保障の一体改革で閣僚の中から消費税引き上げを明記すべきだ、担当を与謝野と玄葉に決めた 与謝野NHKのインタビューに引き上げ幅を明記すべきだ 国民新亀井は慎重論 *野党側から批判 自民は他の野党と協力して攻勢強める 谷垣、平沼 会談、案が示されない限り応じられない 公明漆原、案が示されない限り応じられない、共産、社民も消費税引き上げが前提なら応じられない *小沢の政倫審問題で土肥会長が28日までに出席するよう求める 自民、公明はアリバイづくりだと反発 小沢、鳩山、興石が会談 岡田に不快感 *鹿野農水相諫早排水門開門で23日に現地へ説明に行く
5 水	小沢が強制起訴された場合の菅と小沢の対立 *菅税と社会保障の抜本改革で与・野党協議を呼びかける *自民谷垣、公明山口の反応	21 金	民主岡田 小沢の処分は結論に時間がかかる *自民谷垣、公明山口は民主の対応を批判、両党は与野党の幹事長会談を申し入れる 枝野 普天間基地問題で今日から現地へ
6 木	菅 内閣改造と党役員人事を13日の党大会後検討、仙谷の交代も排除しない	22 土	与謝野発言の波紋 年金支給開始年齢の引き上げ
7 金	民主党活動方針案13日の党大会で、政治主導、定数削減、国会改革、地方選対策 *自民党政権公約 菅政権を早期に解散に追い込む、消費税10%引き上げ明記	23 日	厚生労働省 医療制度、新制度を1年遅らせる
8 土	菅 内閣改造と党役員人事を13日の党大会後検討 *自民、公明は仙谷の交代を要求	24 月	今日通常国会召集 菅初めての施政方針演説 与党は予算案の成立をはかる 野党とりわけ自民党は与謝野の起用を追及、政治とカネ、冒頭から激しく攻防 政府 子ども園創設で作業チーム今日初会合
9 日	菅 民主党役員人事岡田続投固める、小沢招致問題、仙谷の処遇慎重に検討	25 火	政府与党 予算案、関連法案の成立をはかりたい 野党は小沢招致で攻勢 自民は小沢の証人喚問を求める 岡田 修正を含めて対応したい 野党、自身のない証拠だ 民主党内の動き 小沢強制起訴への対応で鳩山グループが会合 旧民社党グループ 菅演説は意味のないものだ
10 月	アリゾナ州銃乱射事件ほか (政治ニュースなし)	26 水	国会 今日各党の代表質問、自民谷垣、民主城島両議員の質問の概要
11 火	菅 昨夜西岡議長と会談、興石と会談、仙谷の処遇について	27 木	エジプト反政府デモほか (国内政治ニュースなし)
12 水	民主党仙谷交代の動き明日の党大会後に示す、前原、蓮舫の見解	28 金	菅 国債格付け格下げで税と社会保障の一体改革の具体的手順が描けていない
13 木	菅 閣僚人事枝野、与謝野らを起用明日内閣と党の本格人事 *自民、公明は仙谷の交代を求めた 西岡議長も辞任を求めた、党内からも交代の声、与謝野は離党する *菅 昨日亀井、福島と会談 郵政法改正、消費税、普天間問題など協力を求めた	29 土	政府 イレッサ副作用患者の救済策検討
14 金	菅 第二次改造内閣と党役員人事今日発足	30 日	菅 ダボス会議で特別講演、開国が必要だ、TPPは6月をめどに結論を出す
15 土	菅 厳しい政権運営迫られる、与謝野起用で党内からも批判 *自民谷垣、公明山口も批判	31 月	国会 民主党は予算案で今日から審議に入りたい 自民や公明などは与野党の合意のないまま一方的審議には応じられない
16 日	政府 エコポイント対象品目の拡充、子ども手当では同居の親に支給		
17 月	菅 今日外交に絞った演説を行う、日米同盟、対中外交、日韓関係、TPP推進、普天間問題を粘り強くすすめる外交手腕への国民の不安を払拭したい		
18 火	菅が目指す税制と社会保障制度に与謝野が難色を示している 岡田、民主党案でやってもらいたい公約を変えるべきではない 民主党内の考え方の違いが表面化 *小沢の政倫審出席問題で岡田、土肥会談 *今日民		